

Bing Maps を参照レイヤにする

マイクロソフト社とマイクロイメージ社のライセンス契約によって、Bing Maps を参照レイヤとして TNTmips、TNTedit、TNTview で表示できます。Bing Maps の表示可能な形式は以下の 3 種類です：

- 航空写真 (右上図)
- 地図 (ラベルを含む)
- ラベル付き航空写真 (航空写真と地図の組み合わせ、ハイブリッド)

地図やハイブリッド形式を選んだ場合、拡大するにつれ道路地図の上に地物のラベルが表示されます。

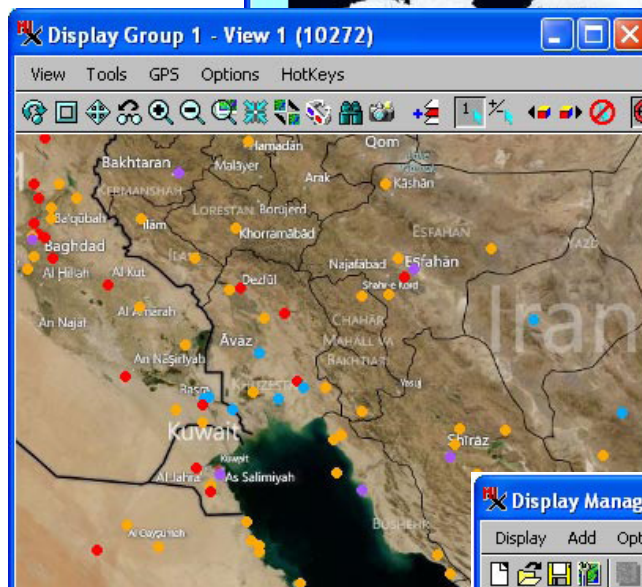
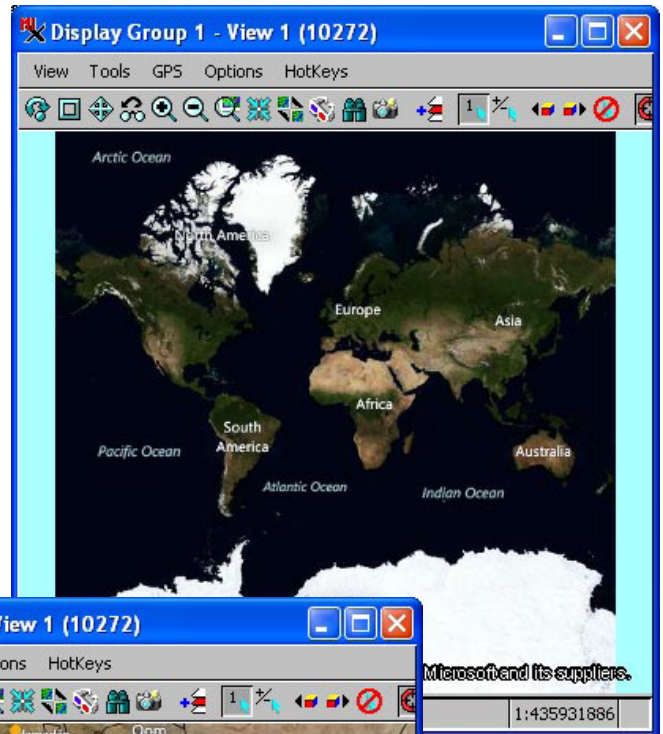
Bing Maps を参照レイヤとして追加できることで、

- 自分の地図データの場所を Bing Maps 上で確認することができます。
- 地図や画像表示の背景データとして使用できます。
- 編集処理で図形データを作成、更新できます。
- スケッチツールを使って地物のトレースが可能です。
- ジオリファレンス処理でコントロールポイントの追加に使えます。

Bing Maps を参照レイヤとして追加すると、その時に表示中の他のレイヤの座標参照系や縮尺に合わせて表示されます。Bing Maps を追加しても表示範囲は変わりません。Bing Maps を参照レイヤとして追加した時に自動的に広範囲の表示に縮尺を変更したい場合もあります。表示範囲を変えたくない時は、〈レイヤマネージャ〉のマウス右ボタンメニューで [グループ範囲から除外 (Exclude from group extents)] トグルをオフにします。このトグルボタンは Bing Maps 以外のレイヤを追加する際にも有効です。

Bing Maps を参照レイヤとして初めて選択した時にマイクロソフト社の使用許諾条件が表示されます。これらの条項を読み [了承 (Accept)] ボタンをクリックすれば Bing Maps を利用開始できます。Bing Maps を参照レイヤとして利用する際のマイクロソフト社のライセンス料は TNT Pro 製品の最新バージョンの登録ユーザに対してはマイクロイメージ社が支払っています。TNTmips Basic と TNTmips Free ではライセンス

(次ページに続く)



Microsoft and its suppliers.
1:435931886

Bing の航空写真 (上図) とラベル付き航空写真 (左図)。ポイントは世界の飛行場の場所を表すローカルレイヤです。

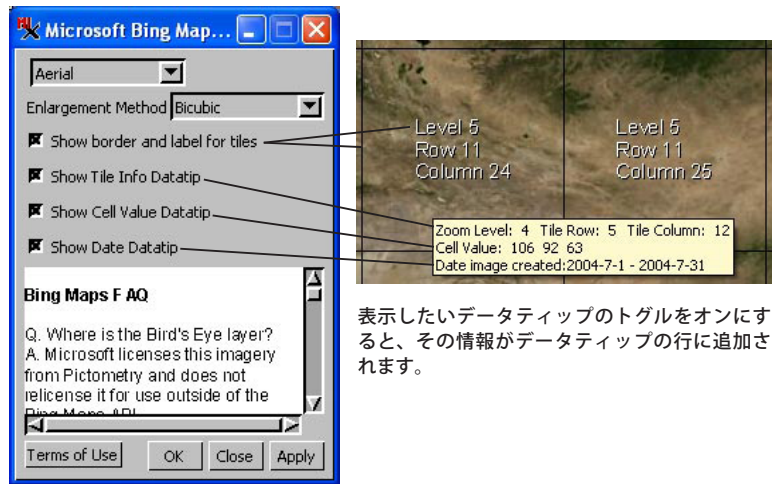


左図：高速道路地図の更新のためエディタで Bing Maps レイヤを使用しています。

されていないため Bing Maps は参照レイヤとして利用できません。

Bing Maps の重要な利用法としてはジオリファレンス用のコントロールポイントの追加が挙げられます。ジオリファレンス処理で Bing Maps を参照レイヤとして追加するには〈レイヤマネージャ〉を使用します。自分の地図や画像の正しい位置を知っている場合、もしくはいくつかのコントロールポイントがすでに付いている場合、〈レイヤマネージャ〉を使ってジオリファレンスするポイントを選択します。Bing Maps をジオリファレンスしたいレイヤとほぼ同じ縮尺に拡大表示し、他の参照レイヤの場合と同様に作業を進められます。

すでに表示した Bing Maps 参照レイヤの形式を切り換えるには、[レイヤコントロール (Layer Controls)] アイコンをクリックするか、右クリックメニューより [コントロール (Controls)] を選択します。[コントロール] パネルでは拡大の際使用する手法を、最近隣法、バイリニア法、バイキュービック法、バイキュービック・シャーパー法、バイキュービック・スモージー法から選べます。初期設定はバイキュービック法ですが、直前の作業で設定



したものがそのまま残ります。[レイヤコントロール] にはタイルやデータタイプに関する数多くの設定が用意されています。初期設定は [日付のデータタイプ (Date DataTip)] です。他のデータタイプをオンにすると、次に Bing Maps 参照レイヤを利用する時にその設定が残ります。Bing Maps の FAQ や Bing Maps 利用規約も後で〈コントロール〉ウィンドウからアクセスすることができます。

